

令和8年（2026年）7月28日

（仮称）つくば市荃崎給食レストラン整備事業における
大規模事業評価対応方針

つくば市長

（仮称）つくば市荃崎給食レストラン整備事業（以下「本事業」という。）については、「自校方式の検討を望む意見」への対応を始め、「食を通じた人々の交流」、「健康的な食生活の促進」、「地産地消の推進」など、市民ニーズや本市が抱える課題を一体的に解決することを目的として、地域住民同士、地域住民と児童との交流促進に寄与できる複合的給食施設を整備する計画として検討を進めてきた。

しかしながら、つくば市大規模事業評価委員会の調査では3つの機能それぞれに評価を行い、答申（令和8年7月10日付け）において、「検討・整理を要する事項が複数ある」との指摘が示されたことを踏まえると、複合的施設として整備する当初の計画どおりに本事業を実施することは困難であると判断した。

なお、委員会からの指摘を真摯に受けとめ、本事業を構成する3機能については、それぞれ諸条件を精査した上で、引き続き以下のとおり進めることとする。

○ 自校式給食提供機能

児童生徒数の推計と給食提供食数のバランスを注視し、市全体の給食提供体制の見直し時期を判断していく。

○ 加工・貯蔵機能

事業主体やより効果的かつ効率的な整備場所などを検討していく。

○ 給食レストラン機能

既存施設を活用した地域と児童生徒の交流機会を創出する方策などを検討していく。